Ｒ８ 年度　学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	保健体育・体育（4 科共通）	単位数	2	担当者	安江、青木、竹内、太田

１、教科書・副教材

なし

２、科目の目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

３、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	４月 ５月 ６月 ７月 ８月 ９月	オリエンテーション 体力テスト 体ほぐしの運動 体力を高める運動 球技 ネット型 バレーボール ダンス 体育理論 球技 ベースボール型 ソフトボール	・健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。 ・感じを込めて踊ったり、自由に踊る楽しさを味わい、交流や発表の仕方、体力の高め方を理解する。 ・スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。 ・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	５３	
後期	10 月 11 月 12 月 １月 ２月 ３月	球技 ゴール型 サッカー 球技 ゴール型 バスケットボール 球技 ネット型 卓球 バドミントン 特別編成授業	・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	５２	

４、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	各種目の特性に応じた技能を身につけている。 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している	技能テスト、技能数値、試合形式での授業、基礎的な体の使い方　等
思考・判断・表現	課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	ワークシートでの意見考察内容、試合形式内での声掛け、安全配慮　等
主体的に学習に取り組む態度	毎回の授業で主体的に取り組むことができたか。	出席、準備、片付け、安全確認、挨拶、体操、協同姿勢　等

５、学習にあたっての注意とアドバイス

（１）安全面の留意
（２）「良き仲間づくり」を意識した授業展開

Ｒ８　年度　学習の手引き（シラバス）

1	学年	教科・科目	保健体育・保健（４学科共通）	単位数	1	担当者	安江、青木、竹内

１、教科書・副教材

教科書　新高等保健体育（大修館書店）
副教材　新高等保健体育ノート（大修館書店）

２、科目の目標

社会の一員として健康問題を考え、健康的な生活習慣を身につけ、健康に好ましい環境をつくるための知識と能力を高めるよう育成する。

３、学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	４月 ５月 ６月 ７月 ８月 ９月	オリエンテーション 健康の考え方と成り立ち ヘルスプロモーション 意思決定・行動選択 感染症問題・対策 性感染症 生活習慣病	・健康の保持増進に関わる知識や思考判断を身につける。 ・現代における感染症に対する知識や対策、性感染症について理解する。 ・生活習慣病についての知識理解を深める。	１８	現代社会と健康
後期	10 月 11 月 12 月 １月 ２月 ３月	食事・運動・休養 がんの予防 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患 交通事故・安全な社会形成 応急手当・心肺蘇生法	・適切な食事、運動、休養の取り方を理解し、がん予防のための対策を考える ・喫煙習慣や飲酒が生活習慣病の要因になることを理解する。 ・心身の健康や社会に深刻な影響を与えることを理解する。 ・精神疾患の特徴や対応について理解する。 ・車両の特性や適切な行動、態度などが事故を防止につながることを理解する。 ・適切な応急手当は傷害の悪化を軽減できることや、正しい手順や方法を理解する。	１７	現代社会と健康 現代社会と健康 安全な社会生活

４、評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	健康や安全について理解しているか。	年２回テスト・小テスト・技術講習
思考・判断・表現	仲間と協力し状況に応じた活動ができているか。日常生活に置き換えて、思考できているか。	年２回のテスト・ワークシート・グループ活動
主体的に学習に取り組む態度	毎回の授業に主体的に取り組むことができたか。	出席・発言・グループワークへの参加状況・授業態度

５、学習にあたっての注意とアドバイス

（１）教科書を主として学習を進める
（２）「良き仲間づくり」を意識した授業展開